

## 第5学年国語科学習指導案

学 級 5年1組 男16名 女18名

指導者 武田 喜隆

学 級 5年2組 男16名 女19名

指導者 菅原 理子

1 単元名 資料を用いて、説得力のある意見文を書こう

教材名 「天気を予想する」「グラフや表を用いて書こう」(光村図書5年下)

2 単元の目標

◎読み手を意識した説明の工夫について考えながら文章を読んだり書いたりする。

◎筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について考えをまとめて発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(読むこと(1)ウ・オ)

◎目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。(書(1)ア・ウ・エ・カ)

◎文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。(伝国(1)イ(オ))

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを明確に表現するため、適切に文章を書こうとしている。</li> <li>・目的に応じ、内容や要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながら本や文章を読もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章にいろいろな構成があることについて理解している。</li> </ul>

4 単元について

(1) 児童について

5年生になってから3単元目の説明文の学習である。4年生では、「アップとルーズで伝える」で写真と文章を対応させて読み、説明の工夫について考えることを、「ウナギのなぞを追って」では写真・図表・地図などと対応させながら、段落どうしのつながりに気をつけて読むことを学習した。更に、5年生で学習した「新聞を読もう」で編集のしかたや記事の書き方に目を向けて新聞を読んだり、「見立てる、生き物は円柱形」では文章の書かれ方や文章構成に着目して要旨を捉えた

りすることを学習してきた。児童は、既習事項を使って段落相互の関係を捉えたり、図や表の読み取りもできるようになってきている。

しかし、児童は、各資料が表していることを読み、それらを文章と対応させ、資料について文章ではどのように解説しているか、そして、その説明の効果や工夫を捉えることは、苦手である。また、要旨を捉え、そこから自分の考えや思いを広げていく力も十分ではない。

## (2) 教材について

「天気を予想する」には、全体を覆う1つの大きな問いは存在せず、1つの問いに対する答えの中から新たな問いが生まれるという関連性をもって、問いと答えが3回繰り返される構成となっている。読み手の思考の流れに沿いながら、自分の主張へと徐々に論の方向性を近づけるような展開であるといえる。大きな特徴としては、図表やグラフ、写真といった非連続型テキストが効果的に用いられ、説明が展開されていることが挙げられる。資料を用いて説明することで、読み手の納得を促すよう意図されている。また、児童にとって身近でありながら、その仕組みはよく知られていない天気予報を題材としている。そのため、児童が自分の経験と重ね合わせながら、興味をもって読み進められる教材であるといえる。さらに、5年生では理科の学習に「天気の変化」や「台風と天気の変化」といった単元が設定されている。その際に学習経験と本教材の内容を、児童がつなげて考えることが予想されるため、教科横断的に考える力を育てられる教材ともいえる。

## (3) 指導にあたって

本単元では、「C 読むこと」の「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」「B 書くこと」の「エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」を指導事項とする。そこで、言語活動例「書くこと」「イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること」を具現化し、「グラフや表を用いて、暮らしについての考えを書こう」を言語活動として位置づける。学習教材「天気を予想する」の学習において身につけた、筆者が伝えたいことと論の進め方や図表などの活用について自分の考えを広げたり深めたりする力、伝えたいことは何かを考えながら読んで文章の中での語句と語句との関係を理解する力を、暮らしについて考えを書く活動に生かすことで、定着を図ることができる。と考える。

図・表・グラフ・写真などを用いた筆者の意図とその効果や説明の工夫について考える力、筆者の考えに対する自分の考えを発表する力をつけていく。さらに、図や表を用いて説得力をもたせる説明のしかたを身につけ、暮らしについての考えを書くことをねらいとしている。そのために、まず、1次では、既習の「新聞を作ろう」で、文章以外の資料を活用することを学んだことを思い出させながら、この単元の学習の見通しをもたせる。2次では、図・表・グラフ・写真に注目して読む活動を行い、問いと答えに注目して筆者の説明の仕方を探り、自分が考えたことを書き、交流する言語活動を設定した。文章構成の工夫に迫るためには、これまでに学習した説明的な文章と比べながら読む。問いと答えが明確で、構成が捉えやすい説明的な文章と比べながら読むことで、問いと答えが繰り返された構成について、筆者の説明のしかたの意図やその効果を考えることができると思われる。また、これまで科学読み物という分野について、児童は下学年までに何度か読んできている。しかし、図表やグラフなどが多数提示される科学読み物は初めてである。そこで、資料が多く活用されている文であるからこそ、提示されている資料には筆者の意図があることを読み

取らせたい。さらに、「天気を予想する」は、1つ目の問いから2つ目の問い、2つ目の問いから3つ目の問いというように問いと答えを繰り返す構成になっている。これまでの文章との違いを比べながら、筆者の論の進め方についても考えさせていきたい。その中で、「科学的な手法による天気予報だけで天気について理解したと思わず、実際に観天望気を体験してほしい」、「天気について受け身にならず、自ら発見してほしい」という筆者の考えをとらえさせたい。

そして、3次で、意見文を書く際には、児童が「天気を予想する」で学んだことを意識しながら書くことができるように、振り返りの時間を設定していく。その中で、国語科における学びの連続性を感得させていきたい。また、相互交流の場では、引用された表やグラフが、書き手である児童の考えを裏づけていたかについて、意見や感想を交流させたい。

## 5 研究に関わる手立てについて

### (1) 手立て1 身に付ける力を明確にした言語活動の工夫について

- ・資料や表の意味やよさを考え、ワークシートに貼る活動。
- ・児童の考えをより深めるための教師が考えたモデル文の提示。
- ・つかむ段階における本単元のゴール「統計資料を根拠に、意見を書くこと」の確認。
- ・自分の考えに自信をもたせたり、自分が気付かなかった新しいことに気付かせたりするグループでの交流。

### (2) 効果的な振り返り活動の工夫について

- ・教室に掲示してある振り返りの観点を基に「振り返り」を毎時間記入させていく。
- ・書く活動につながるような「振り返り」をさせる。
- ・友達の発表からの「気づき」「学び」「意欲」を意識させる。

## 6 単元指導計画（12時間）

段階	時間	学習目標	学習活動	指導の手立て☆評価（方法）
つかむ (二次)	1	○「天気を予想する」を読んだ感想を発表するとともに、単元名・リード文から学習の見通しをもち、今後の学習活動に意欲をもつことができる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           &lt;単元のゴール&gt;            一人一人が書いた文章を読み合い、意見や感想を交流しよう。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文を書く上で、「天気を予想する」を手本とし読むことを確認する。</li> <li>・学習計画を立てる。</li> </ul>	☆天気や天気予報について、自分の経験や知識を進んで話し、興味をもって文章を読んでいる。 [関]（発言、ノート） ・単元のイメージがつかめるように、「書いた文章を読み合い、意見や感想を交流しよう。」という単元のゴールを確認する。
わか (二次)	2	○3つの問いに対する答えを読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いには答えがあることを復習し、3つの問いに対応する答えを探す。</li> <li>・3つの問いと答えから最終的に筆者が伝えたかったこ</li> </ul>	・これまでの説明的な文章の学習を振り返り、問いの文の基本的な文末表現を手がかりにして、3つの問いを見つけさせる。 ☆問いに対応する答えを読み取る

			とをとらえる。	ことができる。 [読] (発言・ワークシート)
3	○3つの問いと答えの関連に着目し,文章の構成と筆者の説明の仕方の工夫を読み取ることができる。	・問いと答えを手がかりにして,筆者が取り上げている事実や筆者の考えに着目する。	・表などに整理させる。 ☆3つの問いと答えの関連を読み取っている。 [読] (発言・ワークシート)	
4 (二組 本時)	○筆者が,表・写真・図・グラフを用いて説明した意図やその効果についてまとめることができる。	・筆者の意図について話し合う。 ・表・写真・図・グラフのそれぞれを用いて説明することのよさをまとめる。	・表やグラフと文章を対比させて読ませる。 ☆表・写真・図・グラフや数値の使い方について,筆者の意図やその効果について気づいている [読] (発言・ワークシート)	
5	○筆者の考えとその根拠となる事実を捉え,数値を用いて説明することの効果を考えることができる。	・数値の効果や,筆者の考えとそれを支える事実について考える。	☆語と語のまとまりや接続のしかたについて理解している。 [読] (発言・ワークシート)	
6 (二組 本時)	○筆者の説明のしかたの工夫について考えたことをまとめて,話し合うことができる。	・筆者が伝えたかったことを書きまとめる。 ・筆者の伝えたかったことを基にしながら,筆者の説明のしかたの工夫について自分の考えを書く。 ・書いたものを基に,グループで話し合う。	☆筆者が伝えたかったこととその根拠となる事実を捉え,説明のしかたの工夫について書きまとめている。 [読] (話し合い・ワークシート)	
7	○前時までの読み取りを基に学習の見通しをもち,今後の学習活動に意欲をもつことができる。	・身の回りの生活の中で,便利なことや不便なことについて発表しあう。 ・テーマに沿って資料の読み取りを行う。	☆教科書を読んで見通しを基に目的に合わせて資料を選んだり,資料から情報を読み取ったりしようとしている。 [関] (観察, ノート)	

活 か す (三 次)	8	○くらしについての自分の考えに合った資料を選ぶことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立場を決めて、統計資料を集める。</li> <li>資料を読み取り、そこから考えたことを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすい統計資料が載った書籍をあらかじめ教室内に準備しておく。</li> <li>☆自分の考えを裏付ける資料を選ぶことができる。</li> </ul> <p>[読] (観察・ワークシート)</p>
	9	○何をどの順序で書くか考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>例文を読み、文章の構成を理解する。</li> <li>グラフを用いるときの留意点の確認をする</li> <li>何をどの順序で書くか決め、「初め」「中」「終わり」に位置づける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の例文に段落番号を振らせ、「初め」「中」「終わり」を確認する。</li> <li>☆説得力のある文章を書くための構成やその要素を理解し、何をどの順序で書くかを決めている。</li> </ul> <p>[考] (観察・ワークシート)</p>
	10 ～ 11	○自分の考えを裏付ける資料を効果的に用いながら、考えを述べる文章を書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>何を、どの順序で、どのように書くか確認する。</li> <li>資料を引用・解説しながら、文を書く。</li> <li>書いたものを読み返し、推敲する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな書き出しにするか、「終わり」ではどのように自分の考えをまとめるかを工夫することを伝える。</li> <li>☆自分の考えとその根拠などを、明確に分けて書いている。</li> </ul> <p>[書] (観察・ノート)</p>
	12	○書いた文章を読み合い、意見や感想を交流できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み合うときの観点について考える。</li> <li>文章を読み合い、意見や感想を交流しあう。</li> <li>交流したことについて、感想を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数グループで交流しあう。</li> <li>感想は、メモしあう。</li> <li>☆友だちの文章を読んで、優れた点を具体的に指摘している。</li> </ul> <p>[伝] (観察・ノート)</p>

## 6 本時の指導 (2組 4 / 12時間)

### (1) 目 標

筆者が、表・写真・図・グラフを用いて説明した意図や、その効果についてまとめることができる。

### (2) 展 開

段階	学習活動 ◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 【評価と支援】
つかむ (5分)	1 前時までの学習を想起する。 ◆3つの問いと答えが連続する文章構成になっていた。 ◆問いと答えが順番に読むので分かりやすい。	○前時は3つの問いと答えの関連に着目し、文章の構成と筆者の説明の仕方の工夫について読み取ったことを確認する。

	<p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;学習課題&gt; 資料を使って説明した意味やそのよさについて考えよう。</p> </div> <p>◆資料がないとどうなのかな。</p>	<p>&lt;手立て2&gt;</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時の学習のゴール「資料を使って説明した意味やそのよさについて考えよう。」を確認し、文章構成の他にも筆者の工夫がないか考えるという見通しを持たせる。</p> </div>
<p>深める 32分</p>	<p>3 全文を読む。</p> <p>4 文章以外の表現の工夫やよさをワークシートにまとめる。(P138～143 までの資料)</p> <p>◆表・写真・図・グラフ</p> <p>5 資料の意図を文とのつながりから考える。(P145 の写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者撮影の写真の意図について考える。</li> <li>◆ことわざに対応する写真を入れて説得力を上げるため。</li> <li>◆書いている内容につながる写真を使って、読者に理解してもらうため。</li> <li>◆自分の考えを読者に伝えるため。</li> </ul>	<p>○どのページにどんな資料を使って説明しているか確かめながら読ませる。</p> <p>○ワークシートの表やグラフ、写真などを段落ごとに記入する。また、それをを用いることでどんな効果があるか考える。</p> <p>○表を例に挙げ、その効果やワークシートの書き方を全体で確認する。</p> <p>○資料を「筆者撮影の写真」に絞り、文章とのつながりや意図について考えさせる。</p> <p>○写真に表されていることが文章と関連していることを、サイドラインを引かせて具体的にとらえさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【評価】</b></p> <p>資料と文につながりをもたせることによって、様々な効果があることを考えることができる。</p> <p>(発言・ワークシート)</p> <p><b>【支援】</b></p> <p>4でまとめた資料のよさについて書いたワークシートを見ながら書かせる。</p> </div>
	<p>6 個人で考えたことをグループで交流する。</p> <p>7 本時の学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>文章以外に「表・写真・図・グラフ」などを使うことで考えを伝えやすい。読者にイメージをもたせながら読んでもらうことができる。</p> </div>	<p>&lt;手立て1&gt;</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>資料の効果や、そこで使った筆者の意図をグループで交流することで、自分の考えに自信をもたせたり、自分が気付かなかつた新しいことに気付かせたりする。</p> </div>

振り返る（8分）	<p>8 本時の学習を振り返る。</p> <p>&lt;手立て2&gt;</p> <p>&lt;振り返りの観点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の工夫について分かったことや考えたこと</li> <li>・友達の考えを聞いて思ったこと</li> <li>・自分が文章を書く時に気を付けたいこと</li> </ul> <p>◆筆者が文章だけでなく写真や表を使うことで読む人に分かりやすく説明しているということが分かった。</p> <p>◆自分が文章を書く時は写真やグラフを使って説明したい。</p>	<p>○振り返りの観点を明示し、児童が本時の学びを短時間で振り返ることができるようにする。</p> <p>○児童の振り返りから書く活動につながるものを価値づけておき、次時以降の学習に対する意欲づけや見通しにつなげていく。</p>
	<p>9 次時の予告をする。</p>	

(3) 板書計画

<p>③ 文章以外に「表・写真・図・グラフ」などを使うことで考えを伝えやすい。読者にイメージをもたせながら読んでもらうことができる。</p>	<p>富士山の頂上にかかったかさ雲</p>	<p>はげしい雨をふらせる積乱雲</p>	<p>文章以外の表現の工夫とよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表……数字があつて高くなっているのが分かる。</li> <li>・グラフ……事実だと分かる。</li> <li>・図……イメージをもちやすい。</li> <li>・写真……イメージをもちやすい。分かりやすい。</li> </ul>	<p>天気予想する 武田 康男</p>
	<p>富士山の頂上にかかったかさ雲</p>	<p>はげしい雨をふらせる積乱雲</p>	<p>ことわざが事実と分かる。</p>	<p>課題 資料を使って説明した意味やそのよさについて考えよう。</p>
	<p>天気が悪くなつていくことを知らせるうろこ雲</p>	<p>積乱雲の様子が分かる。</p>	<p>天気に関する知識をもつて自分で空を見て感じることを伝えた</p>	

7 本時の指導（1組 6／12時間）

（1）目 標

筆者の説明のしかたの工夫について考えたことをまとめて、話し合うことができる。

（2）展 開

段階	学習活動 ◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 【評価と支援】
つかむ (5分)	<p>1 前時までの学習を想起する。 ◆筆者の説明のしかたの工夫に気をつけながら読んできた。</p> <p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;学習課題&gt; 筆者の説明のしかたの工夫について話し合おう。</p> </div>	<p>○前時は、筆者の考えとその根拠となる事実を捉え、数値を用いて説明することの効果を考えることができたことを確認する。</p> <p>&lt;手立て2&gt;</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時の学習のゴール「筆者の説明のしかたの工夫について話し合おう。」を確認し、そのためには、筆者が資料を使ってどんなことを伝えたかったのかを考えればよいという見通しをもたせる。</p> </div>
深め る 32分	<p>3 全文を読む。</p> <p>4 筆者が伝えたかったことを全体でまとめる。 (全体交流)</p> <p>5 筆者の伝えたかったことを基にしながら筆者の説明のしかたの工夫について自分の考えを書く。 ◆考えを伝えるためにどのような説明のしかたの工夫を行っていたか。それには、どんな効果があったか。</p>	<p>○筆者が伝えたかったことを考えながら読ませる。</p> <p>○自分で空を見たり、風を感じたりすることが少なくなってきた現代において、もっと多くのことを感じ、知ってもらいたいという筆者の願いにふれさせる。</p> <p>○前時までに学習した工夫を壁面の学習コーナーを参考にさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価】 筆者が伝えたかったこととその説明の根拠となる事実を捉え、説明のしかたの工夫について書きまとめている。</p> <p>【支援】 筆者の説明のしかたの工夫の中で、いちばんすばらしいと思ったところに絞って書かせる。</p> </div>



	<p>6 書いたものを基に、グループで話し合う。</p> <p>◆友達の話は、自分がまとめたことと比べながら聞く。</p> <p>7 本時の学習をまとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>事実を説明したり考えを伝えたりするとき、文章だけでなく、表やグラフ、写真などをいっしょに示すことで、説得力が出るということが分かりました。</p> </div>	<p>&lt;手立て1&gt;</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>友達の発表と自分の考えとの共通点や相違点に着目しながら聞かせることで、読み手による印象の違いに気づかせる。</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">振り返る(8分)</p>	<p>8 本時の学習を振り返る。</p> <p>&lt;手立て2&gt;</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;振り返りの観点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習でわかったこと</li> <li>・友達の考えを聞いて学んだこと</li> </ul> </div> <p>◆筆者のような工夫をしながら、ぼくも自分の考えを書いてみたい。</p> <p>◆表やグラフを使って説明すると、読む人も本当に説明のとおりか、確かめながら読むので、納得しやすいと思いました。</p> <p>9 次時の予告をする。</p>	<p>○本時の学習について振り返り、認め、励ます。</p> <p>○p148「たいせつ」で、資料を用いた文章の書かれ方を確認し、「グラフや表を用いて書こう」につなげる。</p>

(3) 板書計画

事実を説明したり考えを伝えたりするとき、文章だけでなく、表やグラフ、写真などをいっしょに示すことで、説得力が出るということが分かりました。

接続語

重要語句

天気予想するときには、科学的な一つの有効な情報として活用しながら、自分でも天気に関する知識をもち、自分で空を見、風を感じることを大切にしてほしい。

筆者が伝えたかったこと

文章構成

重要語句

答え

文章中の三つの問いと

天気を予想する  
課題  
武田 康男

筆者の説明のしかたの工夫について話し合おう。